

ボランティアバス 参加準備ガイド

 新発田市社会福祉協議会

参加される皆さまへ

被災された方々に安心をお届けする災害ボランティア活動への参加、本当にありがとうございます。参加される皆さまと共に、新発田市社会福祉協議会も今回のボランティアバスが、微力ながら現地支援につながればと考えています。

【現地に向かう前の心構え】

災害ボランティア活動に行く場合には、自分自身が被災地で活動するにあたり、必要な物や活動に必要な道具・備品などを持って行く必要があります。流通が十分に復旧している地域の場合は、お金を持参し積極的に被災地内で物を買うのも支援の一つです。また、現地での購入・入手が難しそうなのはきちんと事前に用意し、現地に持って行くようにしましょう。

現地での活動は、単なる泥だしや片付けの作業ではありません。地元の方が片付けようと自ら手を動かしているそばで、「お手伝い」をすることに意味があります。片付けは、現地の方が普段の暮らしの思い出探しをすることであり、ボランティアの方とのつながりづくりです。あくまでも「被災者主体」を意識して、活動を依頼した方とコミュニケーションをとることが大事です。

【準備した方が良い物】

- ・ 長袖作業着・・・半袖、短パンはケガの防止の為ご遠慮ください
- ・ 安全靴または長靴・・・鉄板入りの中敷きが最適です
- ・ 着替え、タオル、帽子・・・必要な量をご用意ください
- ・ 雨 具・・・突然の雨が想定されるためご用意ください
- ・ 食 料・・・現地調達が困難な場合があるため、各自ご持参ください
- ・ 飲 物・・・現地調達が困難な場合があるため、各自ご持参ください
- ・ 保 険・・・受付時にボランティア活動保険（天災・地震補償プラン）に加入いただきますので、400円をご持参ください
※保険料は500円ですが、当会から100円補助します
- ・ 活動備品・・・当会や現地の災害ボランティアセンターで、災害ボランティア活動に必要なスコップなどの備品は貸出します
- ・ その他・・・健康保険証、常備薬、お金などの必要な物はご持参ください

【活動後のケア】

皆さんの活動が、被災された方の多くの力になります。帰宅後は、ゆっくり休養をとるように心がけてください。また、ご家族や親しい方と一緒に過ごしたり、一緒に活動した仲間と支え合ったりすることが大切です。

ボランティアの心構え

① 自分のことは自分で守る

病気や食べ物、住居に困っているのは被災者です。被災者に迷惑をかけては、なんのためにボランティアに行ったのかわかりません。健康管理は言うまでもなく、安全の確保や貴重品の管理など、自分のことは自分で守りましょう。

② 被災者の立場や状況を考えて活動をする

混乱している被災者の心をかき乱すような態度は好ましくありません。挨拶はもちろんのこと、言葉遣いなどには十分に気をつけましょう。ボランティアは被災者に「やってあげる」のではなく「お手伝いさせていただく」くらいの気持ちで活動しましょう。

③ 集団行動のルールを守る

災害ボランティア活動はグループでの活動です。勝手な判断をするのはやめ、問題が起きたら同行職員又は現地のボランティアセンターに相談しましょう。

④ 断る勇気を持つ

気持ちが先走り、できないことまで安請け合いするのはやめましょう。できないことはできないと断る勇気も時には必要です。困りごとがありましたら、同行職員又は現地のボランティアセンターに相談しましょう。

⑤ 思い込みをなくす

勝手な思い込みは被災者との心のすれ違いを生むこともあります。また「自分がやらなければ！」といった気負い過ぎも、被災者にとってお節介になる場合もあります。「何をやるべきか」「何が求められているか」をしっかりと理解し活動をしましょう。

⑥ 被災者の自立を支援する

被災者とボランティアは復旧・復興に向けて「一緒に協力する」関係です。やり過ぎて被災者の自立を遅らせることのないように、気を付けることが重要です

新発田市社会福祉協議会 地域福祉課 担当 川瀬・佐藤

TEL 0254-23-1000

FAX 0254-26-3300

HP <https://www.shibata-shakyo.or.jp/>

E-mail chiiki@shibata-shakyo.or.jp

